

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成23年11月24日(2011.11.24)

【公開番号】特開2010-88616(P2010-88616A)

【公開日】平成22年4月22日(2010.4.22)

【年通号数】公開・登録公報2010-016

【出願番号】特願2008-260696(P2008-260696)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】平成23年10月6日(2011.10.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

打球発射装置によって発射されて遊技領域の所定領域を流下する遊技球が検出スイッチにより検出されたことに基づいて遊技を進行するパチンコ機であって、

電気的駆動源と、

磁気を検出する磁気検出スイッチと、

所定の処理を実行する制御手段と、

を備え、

前記制御手段は、

前記電気的駆動源のコイルに予め定めた周波数の電流を通電する通電制御手段を含み、

前記磁気検出スイッチは、磁石の接近による不正行為が行われているときには該磁石が発する磁気を検出してON信号を出力する一方、前記通電制御手段により前記電気的駆動源のコイルに前記予め定めた周波数の電流が通電されているときには該コイルが通電されることにより発する磁気を検出して当該予め定めた周波数でON/OFF信号を出力し、

前記制御手段は、前記磁気検出スイッチからの前記ON信号と前記ON/OFF信号のいずれであるかを判別し、前記ON信号であると判別したときに異常信号を出力することを特徴とするパチンコ機。

【請求項2】

請求項1に記載のパチンコ機であって、

前記制御手段は、さらに、

前記予め定めた周波数以上の周波数成分を減衰させるローパスフィルタ制御手段を含み、

前記制御手段は、前記ローパスフィルタ制御手段が前記磁気検出スイッチからの前記ON/OFF信号を減衰させて無効化した信号に基づいて、当該磁気検出スイッチからの前記ON信号と前記ON/OFF信号のいずれであるかを判別し、前記ON信号であると判別したときに異常信号を出力することを特徴とするパチンコ機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

本発明の請求項1においては、磁石ゴトによる不正行為を確実に検出することができる。請求項2においては、制御手段は、ローパスフィルタ制御手段を介して、磁気検出スイッチからのON信号と、磁気検出スイッチからのON/OFF信号と、を判別することができる。